



学校だより

逢う地

希望と目標を持ち、自立の基礎を身につけた生徒の育成

お・・・思いやりのある学校
う・・・美しさに満ちた学校
ち・・・力を伸ばす学校

唐津市立相知中学校

R2. 1. 8. 第21号 文責：江川俊之

新年明けましておめでとうございます

令和2年、2020年が幕を明けました。

今年の干支は庚子（かのえね）。60年に一度巡ってきます。前回の庚子は1960年（昭和35年）で、カメルーンをはじめアフリカで17もの国がヨーロッパの植民地支配から独立しました。ローマオリンピックでは裸足のランナー、アベベ選手が黒人初の金メダルを獲得しました。新安保条約が改定され、学生運動、安保闘争が盛んに行われた時代でもありました。その安保条約に調印した岸信介首相（安倍晋三現首相の祖父）に代わり、池田隼人当時の首相が掲げた政策は、所得倍增計画。まさに高度経済成長の真只中でした。この年に巨人軍の監督に就任した川上哲治氏はその後V9を達成しました。

庚子は、変化と継続の年とも言われています。これまでも振り返り、発展のために今後の計画を立て、実践につなげましょう。まさに繁栄の年としたいものです。そして日本で開催されるオリンピックを楽しみましょう。



一年の計は元旦にあり

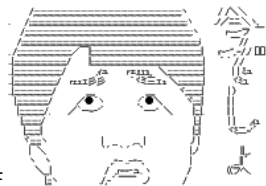
明の「万暦」という元号の頃（1573年～1620年）に、馮應京（ひょうおうきょう）という学者が書いた本『月令広義（げつりょうこうぎ）』の中に、「一日の計は晨（あした）にあり、一年の計は春にあり、一生の計は勤にあり、一家の計は身にあり」とでてき

ます。これが元々の由来と言われています。晨（あした）というのは朝のことです。ここでの「春」は年の始めのことです。一日の計画は朝に立てることが肝心。一年の計画は年の初め（元日）に立てることが肝心。一生の計画はきちんと仕事をする事で決まる。一家の計画（将来）は主人の生き方で決まる。という意味ですが、その中の一部が「一年の計は元旦にあり」です。今一度、今年の目標を確認しましょう。



今今と今という間に今ぞ無く 今という間に今ぞ過ぎ行く

昔から日本人に親しまれている道徳的な、または教訓的な短歌である道歌の一首です。3学期は「行く月・逃げ月・去る月」であつという間に過ぎ去ります。「今」と口にしようとする瞬間、その「今」はもうすでに「今」ではなく「過去」になっています。今は一瞬にして過去になるということです。だからこそ、思い立ったら即実行に移すことが大切です。また、3学期は0学期とも言われます。来年度のための準備の時期でもあります。3年生は受験に向けての万全の準備はもちろんのこと、1・2年生もさらに、より、もっと高いレベルを目指して成長しましょう。そして、3年生が安心して希望の進路を実現できるような落ち着いた雰囲気を作りましょう。



感染症に細心の注意を！

受験期を控え、風邪やインフルエンザ、感染症のリスクを減らさなければなりません。発熱の場合は必ず病院を受診してください。インフルエンザに罹患した場合、法に基づき、学校を休んだ日が出席停止の扱いとなります。出席停止期間は、「発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで」となります。これにより、「発症した後5日を経過」かつ「解熱した後2日を経過」の両方を満たす期間、登校する事ができません。どんなに早く熱が下がっていても、最低、発症した後5日は出席停止となります。